

FM/AMラジオ

取扱説明書・保証書

ICF-51

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



©2009 Sony Corporation Printed in China

使用上のご注意

取り扱いについて

- 次のような場所に置かないでください。
 - 温度が非常に高い所(40℃以上)や低い所(0℃以下)。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 風呂場など湿気のある場所。
 - 一窓を閉め切った自動車内(特に夏季)。ほこりの多い所。
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 本体の内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンなどは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカー内部の磁石の影響でカードの磁気に変化し、使えなくなることがありますのでご注意ください。
- 耳をあまり刺激しないように、適度の音量でお楽しみください。
- 別売りのイヤホンをお使いになるときは、常によい音でお聞きいただくために、イヤホンのプラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。
- イヤホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口、ソニーサービス窓口にご相談してください。
- 防滴機構になっていませんので雨や雪、水しぶきのかかる所では充分にご注意ください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

保証書

持込修理

品名	ラジオ
型名	ICF-51
お買上げ日	年 月 日

本書は、本書記載内容(下記記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申し付けください。

ソニー特約店

お問い合わせ先：修理相談窓口

フリーダイヤル：0120-222-330

携帯電話・PHS・一部のIP電話からは、050-3754-9599

ホームページ：<https://www.sony.jp/support/>

ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

保証期間	お買上げの日から	1年
お客様住所	電話	-
お名前		様

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品(ハードウェア)が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(出張修理、持込修理、引取修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書(再発行しませんので、大切に保管してください)の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、(1)お買上げのお店、(2)お近くのソニーサービスステーション、(3)本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用(実費)を申し受けます。

※2 (1)(2)への依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。
3. 保証期間内の故障でも次の場合は有料となります。
 - (1) 本書のご提示がない場合
 - (2) 本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合
 - (3) 保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合
 - (4) 使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷
 - (5) 他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷
 - (6) お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷
 - (7) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧などによる故障・損傷
 - (8) 業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷
 - (9) 消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換
4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。
6. 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。
9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

* 本書はおお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

* 保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。

T02-5

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

型名: ICF-51

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは <https://www.sony.jp/support/> ホームページをご活用ください。

フリーダイヤル	0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話	050-3754-9577

フリーダイヤル	0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話	050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通)0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「304」+「#」

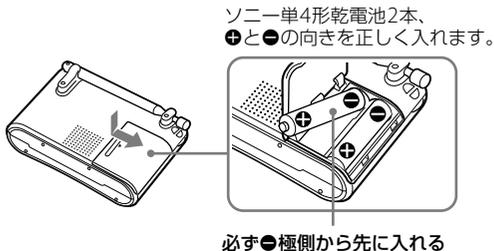
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

主な特長

受信状況が一目でわかる同調インジケータ付き。

乾電池を入れる

裏面



ソニー単4形乾電池2本、
⊕と⊖の向きを正しく入れます。

必ず●極側から先に入れる

乾電池の持続時間 (JEITA*)

(単位:約 時間)

放送の種類	FM	AM
	スピーカー使用時	スピーカー使用時
ソニー単4形 (LR03) アルカリ乾電池	44	52

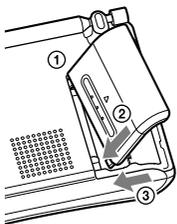
* JEITA (電子情報技術産業協会)規格による測定値です。実際の電池持続時間は使用する機器の状況により変動する可能性があります。

乾電池の交換時期

乾電池が消耗してくると音が小さくなったり、ひずんだりします。その場合は、乾電池を2本とも新しいものと交換してください。

電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は、下図の番号に従って取り付けてください。



- ① 本機に対し上部側のふたのツメを穴に差し込む。
- ② 本機に対し下部側のツメをふたが収まる部分の下部側に引っかける。
- ③ そのまま下部側のツメを穴に向けて滑らせる。

受信状態を良くするには

FM放送の場合

ロッドアンテナの長さや角度を調節してください。

- ロッドアンテナの角度を調整するときは、付け根の部分を持ってください。先端部分を持ってたり過剰な力を加えると、アンテナを破損することがあります。



折れるのでアンテナを回さないでください

AM放送の場合

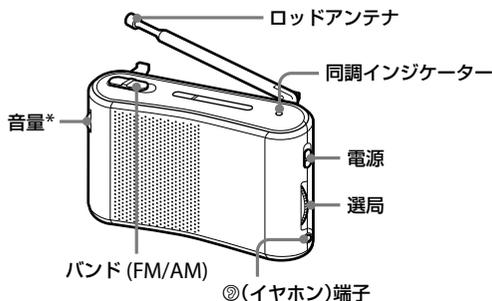
AMアンテナは内蔵されているので、ラジオ本体の向きによって受信状態が変わります。最も良く受信できる向きにしてお聞きください。



- 乗り物やビルの中では電波が弱められますので、なるべく窓際でお聞きください。

ラジオを聞く

スピーカーまたは別売りのイヤホンで聞くことができます。



* 音量つまみ近くの音量を上げる側に凸点が付いています。操作の目印としてお使いください。

- 1 電源スイッチを入にして電源を入れる。
- 2 バンド切り換えスイッチで、FMまたはAMを選ぶ。
- 3 選局つまみを回して、聞きたい放送局の周波数を選ぶ。
放送を受信すると同調インジケータが赤く点灯します。
- 4 音量つまみで音量を調節する。

電源を切るときは

電源スイッチを切にします。

別売りのイヤホンで聞くには

イヤホンを⊙(イヤホン)端子につなぎます。スピーカーからは音が出なくなります。

主な仕様

受信周波数	FM: 76 MHz ~ 108 MHz AM: 530 kHz ~ 1,605 kHz
スピーカー	直径 約3.6 cm 丸型 7.2 Ω 1個
出力端子	⊙(イヤホン)端子 (φ 3.5 mm ミニジャック) 1個
実用最大出力	80 mW (JEITA*)
電源	DC 3 V、単4形乾電池 2本
最大外形寸法	約100 × 66 × 24.8 mm (突起部含まず) 約101.7 × 67.8 × 33.8 mm (突起部含む) (幅/高さ/奥行き)
質量	約112.8 g (乾電池含む)

* JEITA (電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

付属品

ソニー単4形乾電池 (お試用*) (2)、取扱説明書・保証書 (1)

* 付属の乾電池はお試用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。